※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　金剛科

教科	金剛	科目	手話点字	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	今すぐはじめる手話テキスト聴さんと学ぼう！　（日本ろうあ連盟） 初めての点訳Ⅲ　（全国視覚障害者情報提供施設協会）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

手話と点字の二つの言語を１時間ずつ学習します。
手話と点字の技術習得はもちろん、聴覚障がい者・視覚障がい者の理解や支援制度も学びながら、コミュニケーションの技術や理解獲得を進めます。共生社会を創造するため、協働しながら当事者の声を聴いて言語習得を目指しましょう！
実技の授業なので出席して手を動かすことが大切です。

２　学習の到達目標

手話・点字の基礎を身につけ、聴覚障がい者や視覚障がい者とのコミュニケーションがとれるようにする。
当事者交流を経て想いにふれたり演習を通して立場や背景を考察できるようにする。
マンパワーとして活躍できる技術を積み重ねる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・手話の表現の方法や形式、表現の多様性について理解している。 ・点字の表現の方法や形式、について理解している ・点字や手話の能力を向上させるとともに、効果的に表現するためのルールを活用している。	・演習や体験を通して手話や点字をコミュニケーション手段として表現できる。 ・実践をふまえて視覚障がい者や聴覚障がい者の支援を考察し、交流場面などで伝えることができる。	主体的に手話や点字の表現及び鑑賞など幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	手話入門点字入門	聴覚障がい者と出会う 手話と出会う 視覚障がい者と出会う 点字と出会う	a:手話や点字の役割や意義を理解している。 b:基本的なルールをもって表現し伝えている。 c:手話や点字の必要性や価値をふまえて表現を重ねていくことができる。	考察 プリント 課題	考察 プリント 課題	振り返り プリント 授業観察
	手話読み取り点字読み取り	聴覚障がい者のコミュニケーション方法1 手話で自己紹介１ 手話読み取りテスト 視覚障がい者のコミュニケーション方法 点字読み取りテスト	a:コミュニケーションの役割や意義を理解している。 b:基本的なルールをもって表現し伝えている。 c:手話や点字の必要性や価値をふまえて双方向の表現を重ねていくことができる。	考査 小テスト 考察 プリント 課題	考査 考察 プリント 課題	振り返り プリント 授業観察
2	手話表現１　点訳1視覚障害演習	聴覚障がい者のコミュニケーション方法2 手話で自己紹介2 手話表現(手話うた) 点訳入門 視覚障がい体験	a:コミュニケーションの役割や意義を理解している。 b:基本的なルールをもって表現し伝えている。 c:手話や点字の必要性や価値をふまえて双方向の表現を重ねていくことができる。 ｃ:体験に参加し当事者理解をふまえることができる。	夏休み課題レポート 考察 プリント 課題 手話うた	手話うた 考察 プリント 課題	手話うた 振り返り プリント 授業観察
	当事者交流　点訳2視覚障害演習	聴覚支援高等学校との共同学習 手話読み取りテスト 点訳(数字や記号) 点字読み取りテスト 墨点字	a:基礎表現の方法や意義を理解している。 b:基本的なルールをもって表現し伝えている。 c:手話や点字の必要性や価値をふまえて双方向の表現を重ねていくことができる。 ｃ:共同学習に参加し当事者との双方向コミュニケーションができる。	考査 小テスト 考察 プリント 課題	考査 小テスト 考察 プリント 課題	振り返り プリント 授業観察 共同学習の参加

※令和４年度以降入学生用

3	手話表現2	手話ピーチ 手話を使ったゲーム実践 点訳(分かち書き) 墨訳	a:基礎表現の方法や意義を理解している。 b:基本的なルールをもって表現し伝えている。 b:授業で習得した方法を使って伝えたいことを時間内で表現できている。 c:手話や点字の必要性や価値をふまえて創造的に表現を重ねていくことができる。	考査 小テスト 考察 プリント 課題	考査 小テスト 考察 プリント 課題	振り返りプリント 授業観察 手話スピーチ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度